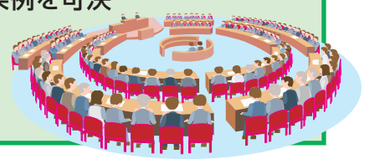
議会の活動

平成26年(2014年)5月 第140号

広報なごや 市会だより

トピックス

- ■議長に うかい春美議員(民主)、副議長に 三輪芳裕議員(公明)を選出
- ■平成26年度一般会計予算を修正可決
- ■市長の特別職秘書設置案を可決
- ■空家等対策の推進に関する条例を可決
- ■区の議員定数が変わります
- ■質問・質疑から
- ■2月定例会提出議案の賛否



2月定例会特集号

市会の2月定例会は、2月19日から3月20日までの30日間にわたって開かれ、平成26年度名古屋市一般会計予算等の市長提出案件76件、名古屋市空家等対策の推進に関する条例の制定について等の議員提出議案5件についての審議や、議長・副議長の選挙が行われました。

議長にうかい春美議員(民主)、副議長に三輪芳裕議員(公明)を選出

議長選挙　結果:うかい春美議員(民主)64票、わしの恵子議員(共産)7票、無効投票4票
副議長選挙　結果:三輪芳裕議員(公明)66票、田口一登議員(共産)6票、無効投票3票

市民の皆様へ　正副議長就任にあたり

第89代 名古屋市会議長
うかい春美
(中村区選出)

第97代 名古屋市会副議長
三輪芳裕
(天白区選出)

私たちは、この度の2月定例会において、第89代議長並びに第97代副議長に就任いたしました。歴史ある名古屋市会の議長並びに副議長への就任は、身に余る光栄であると同時に、その責任、使命の重大さを痛感しております。

さて、本市の財政状況は、歳入の根幹をなす市税収入に回復が見込まれているものの、少子高齢化に伴う扶助費を初めとする義務的な経費の増加は景気の好不況にかかわらず、今後も増加の一途をたどると予測されております。

また、本市では、発生が危惧されている南海トラフ巨大地震に関し、防災対策を講じた場合の被害軽減効果もあわせて推計した被害想定を3月に公表したところであり、防災・減災に係る取り組みを喫緊の課題として、迅速に進めていく必要があります。さらに、平成39年のリニア中央新幹線の開業等への対応、観光・コンベンションの振興と都市魅力の向上、地域の産業や次世代産業の育成、次代を担う子どもたちの教育、子育て支援等、課題は山積しており、本市としては、持続可能な行政運営を念頭にこれらの課題に対応していかなければなりません。

議会としても、議会と市長とによる二元代表制の下、議会と市長とが相互に独立対等な立場で、それぞれが緊張関係を保ちながら、是々非々の姿勢で、市民の生命と財産を守り、市民の安心安全で快適な生活のために、しっかり議論してまいりたいと考えております。

さらに、住民自治の根幹であり、言論の府といわれる議会にふさわしい、大人の真剣で品位ある議論が、子どもたちの輝く未来を創造していくと考えておりますし、そのために全力を尽くしてまいる所存です。

市民の皆様のご理解とご協力を心からお願いいたしまして、ごあいさつとさせていただきます。

平成26年度一般会計予算を修正可決(総額1兆574億円)

～あわせて平成26年度自動車運送事業会計予算・平成26年度高速度鉄道事業会計予算についても修正可決～

市長 敬老パス・福祉パスの事業費を減額 → **議会** 増額修正し、敬老パス制度を持続可能なものとするため今後も議論

～敬老パスをめぐる主な経過～

高齢者人口増加による敬老パス事業費の増大が見込まれる

↓

平成23年10月　外部評価(事業仕分け)で、敬老パスについて「見直し」判定

↓

平成25年10月　社会福祉審議会から、制度の維持継続のためには、本人負担金の引き上げ幅について検討を進めることが必要との意見具申

↓

市長は、本人負担金を引き上げない考えを表明したが、**敬老パスの事業費のうち約5億円を減額(※)し、福祉パスの事業費のうち約1億円を減額(※)した**　※乗車人員、単価を平成25年度予算ベースに据え置いて積算

↓

議会での審議・議決

まずは減額しておいてから議論しようとする市長の手法について批判の声が上がり、議会において議論したところ、減額された負担金のうち、**消費税増税に伴う運賃値上げ分2億8千3百余万円を増額修正し、修正部分以外の減額部分についても、平成26年度中に適切な措置を講じるよう附帯決議を付けて、賛成多数で可決**

↓

議会としては、敬老パス制度を持続可能なものとするため今後もさまざまな角度から議論していくことに

平成26年度名古屋市自動車運送事業会計予算・**平成26年度名古屋市高速度鉄道事業会計予算**

上記の修正案が議決されたことから、当該収入に関して所要の増額修正を行うものです。

■平成26年度名古屋市一般会計予算に対する討論

3月19日の本会議で、平成26年度名古屋市一般会計予算の採決に先立って行われた討論は、次のとおりです。

自由民主党・公明党・民主党・新政会
(修正案賛成・修正部分を除く原案賛成)

本修正案については、新たに項を設けるものの、市長との間で調整を行った結果見出された内容である。また、予算の趣旨を損なうような増額修正には当たらないとの市長の理解をも得ている。市政全般において行財政改革への不断の取り組みが必要であるとの認識は従前より強く持っており、これを推進するものであって、その協力を惜しむものではない。

日本共産党
(修正案反対・原案反対)

反対理由の第一は、リニア開通を起爆剤とした名駅周辺の大改造など新たな大型開発に前のめりであること。第二は、減税の財源づくりに行革の名で市民負担増と福祉の民営化を進めること。修正案も市長が敬老パス予算減額に込めた狙いを修正しない。第三に、国の消費税増税など悪政をそのまま押し付けていること。福祉拡充の予算こそが市民の暮らしを守る。

市長の特別職秘書設置案※を可決

ただし、下記の強い要望・意見(附帯決議)を付けました。

※「特別職の秘書の職の指定等に関する条例の制定について」

1　特別職の秘書は、本市に資する公務しか従事させないとの市長の本会議における答弁を厳守するとともに、名古屋市職員の倫理の保持に関する条例の趣旨を遵守すること。また、その職務に関して、市民や議会に対して十分な説明責任を果たすこと。

市長が工事を中断している市道弥富相生山線について

弥富相生山線の住民意向の調査については、地域の亀裂が入ったり、対立が生じるような手法はとらないこと、弥富相生山線の建設工事については、市民に責任を押し付けることなく、市長の責任で決定をすることとの強い要望・意見(附帯決議)を付けました。

空家等対策の推進に関する条例を可決
(自由民主党・公明党・民主党提案)

議員提出議案として、自由民主党・公明党・民主党から「名古屋市空家等対策の推進に関する条例の制定について」が提案され、所管の経済水道委員会での審査を行った後、**全会一致で可決**しました。

この条例は、適切な管理が行われていない空家等が防災、防犯、衛生、景観等の地域住民の生活環境に深刻な影響を及ぼしていることに鑑み、地域住民の生命、身体又は財産を保護するとともに、その生活環境の保全を図り、あわせて空家等の活用を促進するため、空家等に関する対策の推進について必要な事項を定めるものです。

区の議員定数が変わります
(北区、中区、瑞穂区、緑区)

議員提出議案として、議会運営委員全員により「名古屋市議会の議員の定数及び各選挙区において選挙すべき議員の数に関する条例の一部改正について」が発議され、**全会一致で可決**しました。

次の一般選挙から、各選挙区において選挙すべき議員の数は次のとおり変更となります。

■選挙すべき議員の数を改正した選挙区

	北区	中区	瑞穂区	緑区
改正前	6人	2人	4人	7人
改正後	**5人**	**3人**	**3人**	**8人**

発行／名古屋市会　〒460-8508 名古屋市中区三の丸三丁目1番1号　TEL972-2094　FAX972-4100
編集／名古屋市会編集委員会〔編集委員長:日比健太郎議員(民主)　編集委員:中里高之議員(自民)、金城ゆたか議員(減税)、佐藤健一議員(公明)、山口清明議員(共産)〕
発行日／平成26年5月1日

質問・質疑から

2月定例会の本会議では、平成26年度当初予算初め市政全般に対する各会派代表質問と個人質問を行い、市長初め市当局の考えが広くただされました。また、市長提出案件のうち当初予算に関係のない議案及び追加提出された議案並びに議員提出議案に対して個人質疑を行いました。質問事項は次のとおりです。（発言順に記載してあります。）

代表質問（3月4日）

中里高之議員（自民）
1　予算編成に当たっての市長の考えについて
　―市長が次の世代に残したい名古屋―
2　本市財政状況の現状と今後の見通しについて
　(1)市税収入の増についての市長の評価
　(2)消費増税が本市一般会計に与える影響
　(3)市民税5%減税の効果の検証
3　市設建築物（ハコモノ）におけるアセットマネジメントについて
4　南海トラフ巨大地震の新たな被害想定への対応について
5　敬老パス負担金について
6　リニア中央新幹線の開業を見据えた名古屋のまちづくりについて
7　中京都構想について
8　「アジア観光姉妹都市」について
9　中部国際空港の名称について
10　名鉄名古屋本線連続立体交差事業の進捗状況について

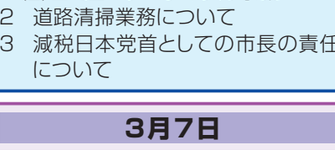
余語さやか議員（減税）
1　市長の考える平成26年度予算案の特色・目玉事業について
2　なごや子ども応援委員会について
3　特別職の市長秘書について
4　名古屋市職員の公正な職務の執行の確保に関する条例について
5　行財政改革について
　(1)公民連携の推進
　(2)職員の人材育成
6　地域委員会について
7　本市の震災対策について
　(1)災害の歴史を含めた防災普及啓発
　(2)原発事故発生に備えた安定ヨウ素剤の備蓄
8　本市の観光戦略について
　(1)名古屋城の魅力向上に向けた今後の取り組み
　(2)なごやめしを中心とした観光資源の活用

沢田晃一議員（公明）
1　福祉施策の充実について
　(1)子ども・若者に対する社会保障制度の創設
　(2)一般就労を目指す特別支援学校高等部生徒の支援策
　(3)地域包括ケアシステム
2　防災対策について
　(1)最新の被害想定を踏まえた防災対策
　(2)消防団の処遇改善策
3　経済活性化対策について
　(1)中小企業振興施策
　(2)観光振興施策
　(3)公共事業における入札不調防止策
4　敬老パスの今後と交通局の改革について
5　女性が活躍できる社会環境の整備について
6　がん対策の推進について

おかどめ繁広議員（民主）
1　なごや子ども応援委員会について
　(1)具体的な事業内容
　(2)既存のスクールカウンセラーとの役割分担と職務規定
　(3)学校との協力体制
　(4)応援委員に期待する人間像
2　社会参加の支援策について
　(1)敬老パス・福祉パスの予算編成に対する市長の真意
　(2)敬老パスの適用範囲
3　金山地区のまちづくり構想について
4　本市被害想定に基づく避難対策について
5　公契約条例について
6　ESDユネスコ世界会議について
　(1)普及啓発
　(2)学校現場での取り組み

玉置真悟議員（新政）
1　本市の多文化共生施策について
　(1)災害時における外国人市民への支援
　(2)NPO等と協働した外国人市民支援の枠組み
2　「消防団支援法」と本市消防団への施策について
　(1)事業者との協働
　(2)大学との協働
　(3)教育訓練のあり方
　(4)団員への情報提供手段の拡充
3　留守家庭児童育成会の用地等確保問題について
4　オープンデータのさらなる展開について
　(1)既存制度との関係性
　(2)国や先進自治体等との連携
　(3)市民にわかりやすい提供方法

わしの恵子議員（共産）
1　リニア中央新幹線の開業を見据えたまちづくりについて
2　国民健康保険料の引き下げについて
3　70歳から74歳までの医療費助成について
4　教育問題について
　(1)教育委員会制度改革案に対する認識
　(2)臨時教員の任用
　(3)少人数学級の拡大
5　原発再稼働に対する市長の認識について



個人質問（3月5日～7日）

3月5日

湯川栄光議員（減税）
1　地下鉄駅ホームにおける転落防止対策について
2　学校における情報モラル教育について

田辺雄一議員（公明）
1　消防団を中核とした地域防災力の充実強化について
　(1)消防団の強化と処遇改善
　(2)消防団との向き合い方
2　名古屋港について
　(1)名古屋港管理組合への市負担金の考え方と影響額
　(2)名古屋港管理組合への市負担金の減額修正に対する見解
3　名古屋城について
　(1)本丸御殿復元に携わる匠の技の継承と顕彰

小川としゆき議員（民主）
1　敬老パスのICカード化に見る市長の政治姿勢について
2　交通安全対策における交差点の整備について

さいとう実咲議員（新政）
1　地下鉄名城線の終着駅について
　―公共交通間の「連携」―
2　シルバー人材センターの「家事援助サービス」について
3　本市におけるCISO機能の明確化など情報セキュリティーに関する人材・体制の強化について

さはしあこ議員（共産）
1　障害者差別解消法を踏まえた本市の取り組みについて
2　名古屋高速道路におけるコンクリートの劣化対策について

松井よしのり議員（自民）
1　あおなみ線のノンストップ運行について
2　待機児童対策について
3　災害時要援護者名簿について
　(1)情報提供
　(2)活用方法

かたぎりえいこ議員（市民）
1　熱田神宮周辺地域のにぎわいまちづくりについて
　(1)熱田区役所南側の未利用地の活用
　(2)バスを活用した観光魅力の向上

近藤徳久議員（減税）
1　名古屋まつりについて
　(1)郷土英傑行列を中心としたまつりの盛り上げ
　(2)障害者の観覧環境の整備
　(3)他のイベントとの連携

長谷川由美子議員（公明）
1　地域包括ケアシステムについて

橋本ひろき議員（民主）
1　地下鉄六番町駅構内で発生したアスベストの飛散事故について
　(1)今日までの対応
　(2)工事発注の考え方
　(3)大気汚染防止法に基づく規制・指導のあり方
2　第一処分場について

3月6日

堀田太規議員（新政）
1　地域活動の担い手としての「地域支援員制度」について
2　東山動植物園再生に向けた今後の取り組みについて

山口清明議員（共産）
1　南海トラフ巨大地震の新たな被害想定を踏まえた防災対策について
　(1)ハード対策
　　ア　防波堤や水門など水際の防災施設
　　イ　津波避難ビル
　　ウ　津波避難施設「命山」
　(2)ソフト対策
　　ア　防災を担う系統的な人づくり
　　イ　自主的な防災活動ができる地域づくり
　　ウ　防災マップコンクールの開催
2　名古屋版住宅リフォーム助成制度の創設について
　(1)環境・福祉・防災に資するリフォームへの助成
　(2)集合住宅の大規模修繕等への助成
3　金城ふ頭開発について

斉藤たかお議員（自民）
1　都市伝説――柳橋駅を前提とした名古屋駅周辺地区の開発促進策について
　(1)まちづくりの方向性
　(2)夢の地下鉄柳橋駅の設置
2　帰宅困難者対策について

うさみいく愛議員（改革）
1　いじめ予防教育の今後の進め方について
2　地域の活性化と団員の士気を高めるための「がんばれ消防団応援事業所」制度の導入について

林なおき議員（減税）
1　子どもの貧困問題について
　(1)子どもの貧困対策法に対する考え方
　(2)本市における取り組み
　　ア　生活保護世帯
　　イ　ひとり親家庭
　　ウ　児童生徒・保護者
2　BCP（業務継続計画）を反映させた訓練について

金庭宜雄議員（公明）
1　中心市街地における自動二輪車駐車対策について
2　全日本吹奏楽コンクール（中学、高校の部）誘致について

3月7日

おくむら文洋議員（民主）
1　フランス　ランス市と本市との交流について
　―ランス美術館との友好提携を契機に―
2　名古屋市公会堂の改修と愛知県勤労会館の跡地利用について

北野よしはる議員（自民）
1　市立大学におけるメディカルイノベーションの取り組みについて
2　地域巡回バスの運行時間帯の拡大について

近藤和博議員（公明）
1　知的財産を活用したオープンイノベーションの創出支援について
2　青少年における深夜徘徊に対する取り組みについて

岩本たかひろ議員（自民）
1　いのちについて
　(1)動物愛護センターの取り組み
　(2)小中学校等における「命の教室」
2　児童虐待対応業務システムについて

山田まな議員（減税）
1　戦略的な広報・広聴の推進について

浅井正仁議員（自民）
1　アベノミクスと河村減税が税収に与える効果について
2　燃え広がらないまちづくりについて
　―木造家屋密集地域への支援―
3　切らずに乳がんを治す陽子線治療の取り組みについて

大村光子議員（減税）
1　「観光立国名古屋」について
　―昇龍道プロジェクトの推進―
2　ミラノ万博への参加について

丹羽ひろし議員（自民）
1　民間活力を利用したまちづくりについて
　(1)案内看板整備（緑政土木局）
　(2)コミュニティサイクル事業
2　道路清掃業務について
3　減税日本党首としての市長の責任について

個人質疑

2月25日

岡田ゆき子議員（共産）
1　一般会計補正予算について
　(1)保育所の社会福祉法人への移管準備
　(2)待機児童対策としての小規模保育事業実施施設の設置

3月7日

岡田ゆき子議員（共産）
1　職員退職手当条例の一部改正について

田口一登議員（共産）
1　名古屋市空家等対策の推進に関する条例の制定について

会派の略称説明
自民…自由民主党名古屋市会議員団
減税…減税日本ナゴヤ
公明…公明党名古屋市会議員団
民主…民主党名古屋市会議員団
新政…新政会
共産…日本共産党名古屋市会議員団
維新…名古屋維新の会
名市…名古屋市民クラブ
市民…市民クラブ
改革…地方分権改革会
無ク…無所属クラブ

代表質問、個人質問及び個人質疑については、名古屋市ウェブサイト（市会情報）にて録画中継をご覧いただけます。ぜひご視聴ください。

2月定例会閉会後の会派の異動及び議員の所属会派の異動については、右のとおりです。

3月28日付で、「減税日本　市志の会」（1人）、「減税日本　元祖・庶民革命」（1人）が発足しました。

3月31日付で、「新政会」（7人）が解散し、同日付で、「八風の会」（1人）、「民和会」（1人）、「政和クラブ」（1人）が発足し、4月1日付で、「民政クラブ・一貫正義」（4人）が発足しました。

2月定例会提出議案の賛否について

2月定例会にて議決した、市長提出案件と議員提出議案に対する賛否については、次のとおりです。

■以下の議案については、いずれも賛成多数により可決（同意案件については同意）しました。各議案に対する賛否と結果は、以下のとおりです。

○…賛成　×…反対　－…採決に参加できない　欠…欠席

| | 議案名 | 氏名／議決結果 | 自民 | | |